

授業科目 薬理学	担当講師名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前 / 後
				1年次/後期
講義のねらい	1 薬物の種類、特徴、作用機序、薬効に影響を及ぼす因子、薬物の管理を理解し、薬物の人体に及ぼす影響について学ぶ。			
授業形態	講義・演習			
講義内容	1 薬物学総論 薬の治療作用と有害作用 2 抗感染症薬 抗生物質の抗菌スペクトル 感染症や耐性菌に対する対策 3 抗がん剤 抗がん作用のしくみ アルキル化薬 代謝拮抗薬 4 免疫治療薬 免疫抑制薬 免疫増強薬 予防接種薬 5 抗アレルギー薬 抗炎症薬 抗ヒスタミン薬 ステロイド非ステロイド性抗炎症薬 6 末梢での神経活動に作用する薬物 神経による情報伝達 交感神経作用薬 副交感神経作用薬 7 中枢神経系に作用する薬物 全身麻酔薬 催眠薬 抗うつ薬 精神病用薬 抗不安薬 抗てんかん薬 パーキンソン病治療薬 麻薬性鎮痛薬 8 心臓血管系に作用する薬物 強心薬 狭心症治療薬 抗不整脈薬 抗高血圧薬 利尿薬 9 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 気管支喘息治療薬 鎮咳剤・去痰薬・呼吸促進薬 消化性潰瘍治療薬 制吐薬 下剤と止痢薬 性ホルモン 子宮収縮薬 10 物質代謝に作用する薬物 ホルモンおよびホルモン拮抗薬 治療薬としてのビタミン 11 皮膚科用薬・眼科用薬 12 救急の際に使用される薬物 13 漢方薬 14 消毒薬			
教科書	系統別看護学 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 ③ (医学書院)			
参考文献	1 イラストでまなぶ薬理学(医学書院) 1 新訂版 ニューワークブック 薬理 (サイオ出版) 3 必要に応じて資料を配付する。 4 DVD VOL.1 目で見える薬理学入門第2版 心疾患の治療薬 VOL.2 目で見える薬理学入門第2版 高血圧・他の治療薬			
評価方法	終講試験 100 点			
備考欄	講師とのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する。			